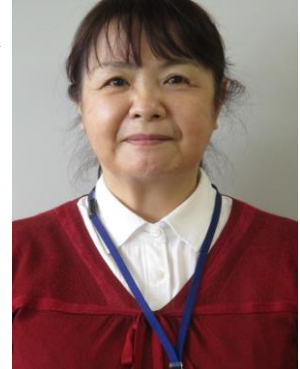


南の風

—第11号—

ご卒業おめでとうございます



今年には桜の開花が早いといわれています。こども医療センターにも多くの桜の木がありました。擁壁工事のため、何本もの木が、人々の目を楽しませる役割を終えました。私は本来、国語の教師なので、このような様子を見ると、『諸行無常』なんだなあと思います。「諸行無常」という言葉は『平家物語』で有名ですが、「万物は変化する」ということです。

コロナ禍に巻き込まれて、三年目になりましたが、今年度は、授業参観を復活させることができました。文化祭やオンラインでの行事も行うことができました。制約がある学校生活ではありましたが、感染状況を見てその中でできる工夫をし、楽しいことに取り組んでいる先生たちや、ちょっとしたことの中に楽しみを見つける児童・生徒、それを見守る保護者や医療スタッフの皆様。心より感謝申し上げます。人間はたくましい！

四月一日より、校名が「横浜南支援助学校」にかわりまします。引き続き、職員一同、より充実した教育のために頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

校長 峰尾 智子



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。人生には、様々な節目の時期があります。卒業は、今のステージが終わるといふ節目です。この機会に、小学校・中学校、そして高等学校生活を振り返って、自分がどのくらい成長したかを確かめてみましょう。

今まで使った教科書やノート、プリント、作品などを積み上げてみてください。知らなかったことを知り、出来なかったことが出来るようになった証拠です。そして、ページを開いて、授業中の様子を思い出してみてください。皆さんは、この6年間あるいは3年間、とてもよく頑張りました。心からの拍手を送ります。

また、この節目を機会に、今まで出会った友達、病院や施設職員の皆さん、ご家族の皆さん、そして学校の先生方にも、普段なら照れくさくて言にくい「感謝の気持ち」を、「ありがとう」と、きちんと言葉にして 伝えましょう。次のステージでもよい出会いがありますように。

副校長 名古屋 学



3月22日、小学部4名、中学部2名、高等部4名のお子さんが、横浜南養護学校を卒業されました。ご卒業おめでとうございます。

病弱教育を担う横浜南養護学校の使命は「つなぐ」です。地元校から引き継いだお子さんを、こども医療センターに入院・入所の間お預かりし、また地元校に戻っていく橋渡しをするのが本校の役割です。お子さんによって在籍期間の長短はありますが、一人ひとりのお子さんとは個別に関わり、その育ちを支えることができるのが本校の特色であり、強みであると考えています。本校在籍中に高校受験に臨んだ中学3年生のお子さんも複数名いました。お子さんが自分自身に向き合い、悩みながら自分の進路を決めて前に進んでいくのを、保護者や病院スタッフの方々とともに支えました。今年度、本校に在籍されたお子さんは、小学部6年生22名、中学部3年生19名、高等部3年生5名です。地元校に戻って卒業を迎えたお子さんが多いですが、在籍された皆さんが本校の卒業生です。新しい人生の第一歩を、自信をもって踏み出してください。

教頭 菊地 真由美



4月 行事予定

～4日(火)	年度初め休業	18日(火)	全国学習状況調査(小6、中3)
5日(水)	入学式・始業式	19日(水)	中学部(教室) 身体計測
	午前日課(～10日)	21日(金)	中学部(病棟) 身体計測
7日(金)	全体保護者会	24日(月)	重心部門 個人面談期間 短縮水曜日課(～28日)
	学部学年懇談会 (13:30～15:00)	26日(水)	小学部1組 身体計測 全国学習状況調査(中3 英語)
11日(火)	通常日課開始	28日(金)	小学部2組 身体計測



横浜南養護学校 ホームページ

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>